

世界津波の日・岩沼市「千年希望の丘」国際交流防災セミナーにおいて、ワークショップを担当しました(2016/11/5)

テーマ：世界津波の日、津波防災の日、津波防災、千年希望の丘、避難行動

場所：岩沼市「千年希望の丘」

URL：http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20161105_tsunami_bousai_seminar.pdf

11月5日(土)の世界津波の日に、千年希望の丘相野釜公園(宮城県岩沼市)において、「国際交流防災セミナー」(主催：一般社団法人森の防潮堤協会、共催：一般社団法人日本フィットセラピー協会、後援：岩沼市・東北大学災害科学国際研究所)が行われました。

この防災セミナーは、昨年12月の国連総会本会議で採択された、11月5日の「世界津波の日」を記念して、千年希望の丘の防災機能を学ぶほかに、レジリエンス、津波避難行動について理解を深める講演・ワークショップと、そのほかに位置情報を活用したスマートフォンゲームを防災や地方創生に活用する提案や、ゲームを通じた国際交流などをテーマとして開催されました。

当研究所の安倍祥助手(寄附研究部門)は、防災ワークショップのコーディネートを担当し、高校生や大学生と一般のおよそ40名の参加者と、津波から避難する方法や、身を守るための情報の活用について話題提供を行いながら、千年希望の丘における津波警報時の避難の方法を参加者と対話しました。ワークショップの中では、千年希望の丘に設けられた「避難丘」への避難ウォーキングも行い、津波の際に公園外に避難できない状況での緊急的な一時避難場所を参加者と一緒に確認しました。参加者とともに丘の上に登り、避難丘にある防災四阿(あずまや)に設けられた簡易宿泊・防寒・発電など様々な機能について岩沼市役所職員から説明を受け、千年希望の丘の防災機能について参加者とともに考えました。



世界津波の日について紹介



津波時の避難方法について会場と対話



千年希望の丘・避難丘の解説(岩沼市から)



避難丘にあるテント機能の実演

文責：安倍 祥(寄附研究部門)